

# ほけんだより 12月

舞鶴市立倉梯第二小学校

保健室

12月10日(水)に学校保健会を行いました。学校と保護者の皆様、そして学校三師の先生方を交えて、健康・体力・安全の面から今年度の倉二っ子の実態について協議を行いました。

～学校三師の先生方のお話より～



## 【学校医の先生より】インフルエンザの流行について

たびたび子どもの中で感染症の流行があるのは、免疫が付いていないからです。最近は点鼻タイプのワクチンも出ているので、高価ではありますが、注射が苦手なお子様に有効です。また、家庭で検査ができるキットが薬局等で発売されています。その検査をする際に注意していただきたいのは「偽陰性※」です。結果が陰性の場合でも十分に検査できていない状態を考慮してください。また、薬の処方には病院受診が不可欠です。検査キット代と比較すると子どもの受診料の方が安いので、よければ病院を利用してください。

※実際には感染しているにも関わらず、結果が陰性として表示される状態のこと。

- ①感染初期などウイルスの量が少ない場合や、
- ②鼻の奥からうまく検体が接種できなかった場合などが挙げられます。

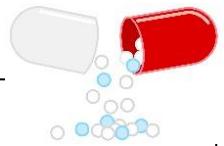
## 【学校歯科医の先生より】むし歯について

今年度のデータを見ると、むし歯のある児童は若干増えていましたが、広い目で見ると減少していると考えてよいです。その背景には、学校での定期的なフッ化物洗口やご家庭でも歯磨きの習慣がしっかりと根付いていることが影響しています。しかし、むし歯は減ったものの新たに歯周病の問題が増えています。ブラッシングが強いと知覚過敏に繋がりますので、優しくブラッシングをするとよいです。



## 【学校薬剤師の先生より】オーバードーズについて

近年、オーバードーズ(用法・用量を守らずに薬を服用すること)が社会問題になっていることを受け、来年から新たに8成分が指定薬物になります。薬は酒やたばこのように年齢制限なく買うことができますが、未成年者には氏名の確認や一人一箱の購入制限を設けることによって大量に購入することを防ぐことができます。オーバードーズには家に置いてあるような風邪薬が使用されていますので、保管方法には注意が必要です。



～ 健康面の様子より～

春の検診結果と令和6年度の京都府と全国のデータと比較したところ、**身長**は半数しか平均を上回っていなかったにもかかわらず、**体重**ではほとんどのクラスが平均を上回っていた。

**視力**では、2年生から視力C(0.3~0.6)、3年生から視力D(0.2以下)が出現している。視力B、C、Dだった本校児童の割合は44.4%であり、R4京都府平均の35.6%よりも高い割合を示している。

**歯科**では、全校のむし歯処置完了者と健全歯者の割合は76.8%で、昨年度の85.7%より低い。また、未処置歯のある児童の割合は19.0%で、昨年度の14.3%より増加していた。

11月までの**保健室来室者数**は、体調不良273人・けが140人でどちらも昨年度より増加していた。その中で、**病院を受診**したのは10件で、そのうち授業中のけがは2件であった。猛暑の影響で子どもたちは室内での生活時間が増加したこともあり、休み時間中の教室での怪我が多くなった。

保護者の皆様のおかげで子どもたちは毎日元気に登校することができています。  
お忙しい中、参加していただいた保護者の皆様ありがとうございました。

